

ひとりから

子ども会情報紙『ひとりから』

発行日/2020年10月1日

発行/真宗大谷派(東本願寺) 青少幼年センター
〒600-8164 京都市下京区藤訪町通六条下る上柳町199
TEL: 075-354-3440 FAX: 075-371-6171
E-mail: oyc@higashihonganji.or.jp

ぞんみょう子ども会



蓮ちゃん通信 その①

「子ども報恩講のつどい」 2020年度企画

みんなの写真を募集!

2020年11月2日～受付(先着170名)

今年の子ども報恩講のつどいは、新型コロナウイルス感染拡大防止につき真宗本廟にどのような形ではなく、それぞれの場所からみんなの写真を募集します!

みんなの写真は、真宗本廟境内を描いたシートに貼り、報恩講期間中に本山内に展示します。また、応募してくれた友だちには、報恩講厳修後に記念品を送付します。

応募ご希望の方は、青少幼年センター
TEL.075-354-3440
までご連絡ください♪



子ども報恩講

子ども報恩講



写真入り缶バッジが
もらえます♪

「目の前のひらひらとねいに会おう」という児童教化のいのちを、私は枯らさない。
それが、この夏の、私の決意。

お寺から子どもたちの声が消えた。新型コロナウイルスの影響で、子ども会や子ども食堂などがすべて中止となったからだ。これからのようになるだろう。いつ再開できるのだろう。このまま自然消滅してしまうのでは…。様々な不安が入り混じる。

この夏、感染予防の対策を取りながら、悩んで実施したのは、1回4～5人の4グループに分かれての、各回1時間だけの「夏まつり」子ども会。

そこで出会ったのは、以前にもましてパワーアップしていた子どもたち。実感したのは、子どもは変わらずに居場所を求め続けている、ということだ。少人数だったので、いつもよりいねいに子どもたちと出会えた気がした。

これからは困難は続くだろう。しかし、場を求め続けている人は必ずいる。児童教化の場合は、どんな時だって必要とされ続けているのだ。

この夏の決意

青少幼年スタッフ 酒井義一 さかい よしかず

たいせつな学び

岐阜高山教区
四衛亮よっつて あはらい

2011年に起こった東日本大震災のことを知っていますか。まだ生まれていなかった人や、まだ小さくてよくわからなかった人も多いと思います。とても強い地震があり、アツという間に大きな津波が押し寄せ、東北の太平洋沿岸を中心に大災害となりました。1万5000人以上の方が亡くなり、今も25000人を超える方が行方不明です。たくさんの家や学校も道路も線路も町全体が壊れました。この震災からしばらくたったころ、こんなことを話してくれた人がいました。

地震があった後、コンビニに出かけると、食料と飲み物を求め、みんな持てるだけの品物を抱えてレジに並んでいます。その列の中に小学校に入る年ごろの男の子が、おやつを買うためにお菓子を一つ持って並んでいたのです。そしてその子の番になった時、その子は、レジの横に置かれた震災への支援の募金箱を見ると、少し考えていました。それからにぎりしめたおこづかいを募金箱に入れ、持っていたお菓子を棚に戻してコンビニを出て行ったのです。

その時、血走った眼をしてレジに並んでいたおとなの誰もが、ハツとした顔になったのです。それから、私は急に恥ずかしくなりました。



大きな地震だったので、被害が特になかった地域でも、食料や飲み物が無くなるのではとみんなが心配して、コンビニやスーパーに買い出しに行った時の話です。

その人は、男の子の姿を見て、地震や津波や原発事故で大きな被害を受けて、悲しみや苦しみの中にいる人たちのことをすっかり忘れて、我先に自分のことだけを考えていた自分自身に気づいて、恥ずかしくなったのでしょ。

子どもたちと聞く法話

私たちは、たいへんな出来事に出会うと、不安や怖さで、つい自分のことばかりに目が行って、困っている人のことを考える余裕がなくなります。今の新型コロナウイルスの感染の問題でも、自分への感染が怖いので、感染した人は病気になるって困っていることを考えないで、悪者のようにうわさをしたり、嫌がらせをしたりすることが起こっています。さらに病気になった患者さんのために、懸命に病院で働く人やその家族を嫌って、近くにこないようにすることも起きています。

そんな私たちですが、先ほどの人のように、そのことに気づいて、自分のことが恥ずかしく思うことも起こるのです。そして、私たちの周りには、男の子の姿のように、気づかないでいた自分勝手な私の問題を、教えて気づかせてくれるものもたくさんあるのでしょ。

生命がこの地球に誕生したのは、今から40億年前だと言われています。それから遙かな旅を経て、たくさん細胞が集まった生命が生まれたのは15億年くらい前です。そしてさらに長い進化の歴史を通じて、私たちは生きています。

この歴史の中には、大震災のようなたいへんな災害がいくどもあったでしょう。そして今回の新型コロナウイルスのように、ウイルスや細菌の感染が

流行することも何度もあったでしょ。

さらに天候の関係で食べ物が取れない飢饉の時もたくさんありました。その中をくぐりぬけて、私たちの生命は伝えられてきたのです。私たちの中にいる自分勝手やわがままだけなら、生き残れなかったかもしれませぬ。

でも、私たちに生命が届けられているのは、その問題を教えて気づかせることが起こったからに違いありません。それは、自分のわがままが、いろんな生命を危うくしていることにぜひとも気づいてほしいという願いがあるからです。

その願いは、私たちの歴史から少しも離れずにいつもそばにあるのです。子どももおとなも、その願いに学ぶ人になることが何よりたいせつです。

蓮ちゃん通信 その②



慶讃テーマソング 歌詞募集の受賞者決定!

最優秀賞：「今日も明日もあなたもわたしも」
袖岡菜月さん(大谷高等学校3年生)

優秀賞：「あなたのこえ」片桐和夫さん

優秀賞：「ひとりじゃない」
串馬千聖さん(京都光華高等学校3年生)

この歌詞に曲をつけて、本山御正忌報恩講中の11月21日に真宗本廟で表彰式&初披露します。

※詳細は宗派ホームページをご覧ください

—想いを言葉で伝えたい—

お手紙のすすめ

ひとりからはじめる
イベントレシピ

子どもたち
への



子どもたちに会うことがなかなかできない中、少しでも想いを言葉にして届けてみませんか？
これならできるかも！というかんたんなアイデアを紹介します。

手づくりカード



とびだすカードに
ひとことメッセージ
を添えて。

手紙

想いを
文章にして
みませんか。



(文例)

〇〇くんお元気ですか？学校はどうか？
なかなかおもしろい遊びはないよね。私も
大人だけどおもしろい遊びに行けない
のはさびしいよ。また一緒に仏さまのお話
ができるのを楽しみにしています。

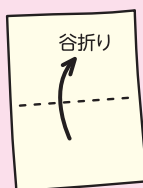
〇〇寺 ごえんさんより

※年齢に合わせて、ひらがなを使ったり、
ふりがなをふって書きましょう。

お届け方法

- ④ 郵送
- ④ お参りの時に渡す
- ④ 掲示する
- ④ フライヤーのように置いておく(掲示板の下など)
- ④ 本堂の縁や庫裏の玄関などに置き、来られた人に持って帰ってもらう

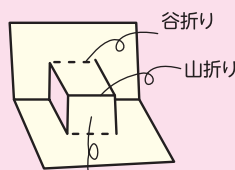
つくりかた



1 カードを縦に半分
折り上げます。

2 折り目の方から
切りこみを入れます。

※切りこみは折り目に対して
できるだけ水平に。



3 一度ひらいて
切りこみ部分を
後ろから押し上げます。

4 できあがり。



← 自由なデザインで！シールで飾ってもいいですね。

絵はがき

短文を添えて

(文例)

〇〇ちゃんへ
お寺のネコちゃんも〇〇ちゃんに会いたくて
さびしそう。またみんなでお菓子づくりが
できたらいいね。 〇〇寺 ぼうもりさんより



「ひとりから」はじめる仏事

子どもたちに
伝えてみませんか？

大正時代、[※]本山社会課から『児童と宗教』という児童教化の指導者のための雑誌が発刊されていました。そこには、先輩方が伝えてくださった遺産がたくさん。このコーナーでは、そこに連載されていた「教案」から、私たちの生活の中の仏事に関するものをサガエさんがリライトしてお届けします!!

※本山社会課…社会と寺院をつなぐべく初めて派内に設置された宗務組織。宗派の青少年教化を担っていた。

仏の智慧

わたしたちは、気づかずに自分勝手に友だちやものを見てしまいます。また、自分に都合よく考えてものごとを理解しようとします。それはまるで、すべてではないある一面や一部分だけを見て、聞いて理解しているようなものです。



わたしたちはみんなそれぞれに意見が違ふのは、このような理由からですね。だから、友だち同士の意見のぶつかりあい、言い争いがあるのでしょうか。仏さまは、すべての成り行きやすべての姿をよくご存知で、わたしたちの「生きる道」をしめしてください。これが、仏さまの智慧の「はたらき」です。

出典：幡谷淳信「十月教案」仏の智慧
『児童と宗教』3巻12号より、一部抜粋、現代語訳
リライト：“サガエさん”こと佐賀枝夏文

ボクはこんな風に話してみました



さがえ なつふみ
佐賀枝 夏文
(大谷大学名誉教授)

「目には見えない世界」の大いなる「はたらき」ってあるんだよ。わたしたちは「目に見える世界」だけで考えようとします。だからでしょうか、心も体もちぢこまって悲しむことになることがあります。み仏さまは「見えない世界」を伝えようとされています。それがみ仏さまの智慧と考えてください。そんなすてきな智慧の世界を知ってください。

コーナーの活用例

- ④ 本文「仏の智慧」をそのまま覚えて話す。または、ご自身の表現で話す。
 - ④ プリントして配布し、朗読する。
- 上記以外にもその場に合わせてご活用ください!

本文のPDFデータは、青少年センターホームページ「子どもとあそぼう」のコーナーからダウンロードいただけます。

◎変化の真つただ中にあるお寺。第30号を目前に、今一度この情報紙のタイトルにある願いに立ち返りたいと思います。「ひとり」は私であり、目の前にいる人。これまで忙しさを煩わしさを言い訳に、向き合えず、見過ごしてきた「ひとり」に出会ったきっかけを探してみませんか。

(編集長 池崎方子)

◎今年度より子ども情報紙『ひとりから』は、年2回発行となります。現況のコロナ禍の中で突然に失われた子どもたちの居場所をどう回復していけるのか。全国の寺院が悩み、日々工夫を凝らして、青少年に教える伝える活動を続けています。そのための一助となることを願って、発行してまいります。

(青少年センター主幹 藤間哲祐)

編集後記



真宗大谷派の青少年教化の情報をお届けします。

<https://www.facebook.com/oyc.hitorikara/>

※facebookの個人アカウントをお持ちでなくてもご覧いただけます。

●真宗大谷派(東本願寺)青少年センター TEL.075-354-3440

青少年センターホームページ

東本願寺 青少年センター

検索

ぜひ、ご覧ください!!